

# よかひより

御所浦地区振興会便り 第20号  
平成27年1月1日号



## 迎春



### 年頭のご挨拶

新年明けましておめでとうございます。

昨年は行事の取組み等で、住民の皆様や各種団体の方々には、いつもご協力下さりまして有難うございました。

今私達の町は水産漁業等の不振と景気の低迷で過疎化がすすみ、課題が山積しています。

政府は「地方創生」と積極的に取り組んで行くと言われていますが、先行は不透明です。私は従来の行事依存だけでなく前途多難ではありますが、私達しか出来ない新しい形の地元に対応した活動と発信力を高める事の必要性を痛感しています。今私達に何が出来るのか、皆様のお知恵をお借りしたいと思っております。今26年度の活動の中で女性の部会を設けて、女性の方の目録で何が出来るかを検討していただく事になっています。

「言うは易く行うは難し」と言われますが、失敗を恐れず会員の皆さんと相談して少しでも前に進むよう実行していきたいと思っていますのでよろしくお願い致します。

本年が皆様にとりまして幸福多い一年となりますよう祈念申し上げます。

御所浦地区振興会会長 花里 安幸

## サギ商法に「注意」を 悪質商法撃退講話会

10月15日(水)に御所浦島開発センターで「悪質商法 私はだまされない」と題して講話会を実施しました。

普段家にいることが多い女性や高齢者を対象に講話が行われ、悪質商法や消費者トラブル等実際にあった事例や、被害にあわなかった心の構え、万が一被害にあった場合の対処の方法など様々のことについて講師の方からお話がありました。

今回の話をもとに悪質商法などのトラブルに遭わないよう、地域の安全に役立ててもらえばと思います。



▲ 悪質商法に対して理解が深まりました



## 今昔写真館



### 中瀬戸橋



▲ 現在 工事中 ▶



御所浦島と牧島を結ぶ中瀬戸橋は昭和59年より工事に着工し昭和61年に開通しました。現在でも町内をつなぐ唯一の橋として利用され、今後の架橋建設が待たれます。



日本の祝日には家庭で国旗を掲揚し祝日を祝いましょう

# 大漁と航海安全を祈る 御所浦菅原神社大祭

旧暦9月25日にあたる10月17日(金)から19日(日)にかけて、大漁祈願と航海安全等地域の発展を祈願する御所浦菅原神社大祭があり、神事や様々な行事が執り行なわれました。



## 10/17(金) 松明行列・前夜祭



## 10/18(土) 大祭神事・神幸行列 魚のつかみ取り



## 恵比寿が大黒

### 福の神く〜♪

### 亥の子祭り めいごんじ

12月7日(日)に亥の子祭り よいとんごが行われました。これは旧暦10月の最初の亥の日に小学生が家庭を回り邪気払いをし、無病息災・家内安全などを祈る地域の伝統行事です。玄関先でよいとんごの歌を元氣良く歌いながら、紅白の布を巻いたタイヤを地面に打ち付けることで邪気を祓うと、家の方から御礼のお菓子をもらっていました。地域を回り終わると御礼にもらった沢山のお菓子の配分や、準備されたぜんざいを食べたりなどして賑やかな声が聞かれました。



## 花の香りがする里に

### 花壇整備活動

10月26日(土)に御所浦地区内の花壇の花植えを行い、地域の公園や道路沿いの花壇に様々な種類の花を植えました。市の花苗の配布事業を利用してはじめたこの取り組みも3年が経ち、参加する方もなれてきたのか要領よく花壇を耕して、花の苗を植えていきました。この苗も春先にはきれいな花を咲かせ、道行く人の目を楽しませることでしよう。





# 10/19(日) 演芸の夕べ



期間中様々な行事が行われ祭りも非常に盛り上がりました。  
この度の一連の運営に際し協力いただきました各種団体、事業所の皆さまにこの場を借りて御礼申し上げます。

# 海のゆりがごの

## 再生を

### 水産多面的事業 アマモ植育

11月7日(木)に水産多面的事業の一環としてアマモの種付けを行いました。小学校の環境学習も兼ねて実施したもので、まずは天草市水産課の職員より児童に対しアマモについて学習をし、その後に分達の手で種付けを行いました。

種付けにはポットを使用した方法で行い、種が発芽して苗がある程度成長するのを待って海岸に植える計画です。

すぐに効果がでるわけではありませんが、この活動を継続していくことによつて、将来の魚の餌場などとして環境改善に期待が持てるようになります。



### アマモの種付け手順



③種付けしたポットを海水を入れたビンに浸します



②土を入れたポットの表面にアマモの種を植えます



①ポットの中に土を入れます



④適度に海水を換えつつ苗が成長するまで保管します

### 解説 藻場造成の取組

アマモ場などをはじめとする藻場は「海のゆりかご」と呼ばれ魚などの生育場所や産卵場所となったり海水中の栄養塩を吸収して水質の悪化を防止したりと、魚場の生物生産や水質浄化に重要な役割をはたすことで知られています。しかし近年全国的に藻場の減少が見られ、御所浦でも同様の傾向が見られます。その中で、全国各地で藻場の復活を目指し様々な活動が行われており、学校の環境教育の一環や地域活動として行われています。御所浦地区壮青年グループでも昨年より取組を続けており、今回のアマモの種付けのほかヒジキの育成試験も実施しています。



▶種苗プレートによるヒジキの育成試験